



=ネイパル北見「こどもまつり」= **親子連れで大盛況!**

4月30日(日)、道立青少年体験活動支援施設・ネイパル北見の要請を受け、当センターから2名が参加し「こどもまつり」の活動を支援しました。

この「こどもまつり」は、大型連休に合わせて開催され、親子連れらが大勢訪れるネイパル北見の人気行事で、教育関係機関やボランティア団体などが協力・出展する催しです。

当日室内では、風船で子犬をつくるバルーンアートやアロマローソクづくりなどの体験コーナー、ステージでは紋別市の子どもたちによる一輪車の演技などが行われました。

また、野外ではパン生地を棒に巻付けて炭火であぶる、野焼きパン体験が行われていました。

当センターでは、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得て、マツボックリと枝などを利用した木工クラフトや大人限定の枝笛づくり、飛ぶタネの模型(ロケットラワン)づくりや竹とんぼづくりを行いました。それぞれのコーナーでは、次々に親子連れで席が埋まり人気を博していました。



大人限定の枝笛づくり



当ふれあいセンターのブースの様子

5月の予定

- 5月12日(金) 「ボランティア育樹」実行委員会
- 17日～21日 「森のパネル展」(北見市緑のセンター) / 20日・21日 「木工教室」
- 28日(日) 「森林の魅(味)力を感じよう!」(森の家)



全体会議の様子

みどり検定は山の日

4月25日(火)、北見芸術文化ホールで第11回「オホーツクみどりネットワーク」全体会議が行われ、当センターからも出席しました。

総会では、オホーツクみどり検定を毎年、8月11日の「山の日」に実施することなどの方針を確認するとともに、結成以来、会長を担っていただいた鈴木順策氏(オホーツク森の案内友の会)に替わり、鞘師守氏(森林ボランティア

「オホーツクの会」)が新たな会長に選出されました。

その後、活動事例発表として、オホーツク森の案内友の会とオホーツク総合振興局西部森林室から報告がありました。

また、秋本正信氏(元道立林業試験場研究員・樹木医)から、テング巢病やサビ病、ウドンコ病などの症状と診断(見極め方)の「樹病」についての講演があり、「樹木の病気は、未知の部分が多い。農業と違い、治療(防除)効果が投資に見合わず、研究が進んでないのが現状。」との話が印象的でした。

ご協力お願いしま〜す!

4月24日(月)、JR北見駅前広場で【未来へと植えて育てる緑の輪】のスローガンのもと「緑の募金」街頭募金キャンペーンが行われ、当センターからも参加しました。

これは、緑化に対する理解と認識を深め、森林の整備及び緑化の推進を図ることを目的としており、北見市の「緑の募金」活動の出発式と併せて行われているものです。

主催者である「緑と花の市民の会」の渡部会長のあいさつ、来賓の北見市長(副市長)のあいさつの後、8団体・約70名が、JR北見駅前から2条通までに分かれて募金活動を行いました。

風が冷たく、少し肌寒い中での活動でしたが、「よろしくお願いしま〜す。」との呼びかけに、多くの市民に快く応じていただきました。なお、北見市の緑の募金運動期間は4月24日から5月31日までとなっています。



街頭募金の様子

常呂川森林ふれあい推進センター

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11の3

【TEL】0157-23-2960 【FAX】0157-26-2144

